



指扇中だより



～WE LOVE SASHIOGI!～

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 TEL 048(624)6234 FAX 048(624)2479

『緑の日々』



校長 おお ころ うち のり かず 大河内 範一

私は昔から整理整頓が上手ではなかった。今は家族が皆、忙しいという理由もあるのだが、平日は家の中が散らかり続け、机の上もどンドン埋まっていく。休日になって、ようやく片付けができた時に、「リビングテーブルの色」が再確認できる。気分がちょっとスッキリする瞬間でもある。

冬のネクタイシーズンもまた問題だ。帰宅してネクタイを外した時に、さっさと掛ければいいものを、床やベッドの片隅にポンと置いてしまう。週末にいざ片付けようとネクタイがある場所を見てみると、とぐろを巻いていて「へビの巣」のようになっていることがよくある。

以前、思い立って『断捨離』や『片付けの魔法』などの整理整頓マニュアル本を片っ端から大量に購入し、この状況を打破しようとしたことがあった。しかしながら、その決意もあつという間に崩れ、何一つ改善されなかった。それどころか、ふと床を見渡すと、これらの整理整頓本がそこら中に散乱し、部屋が散らかる原因になっていた。我ながらちょっと情けない気持ちになった。

小動物のリスは、餌となるドングリを、穴を掘ってきちんとしまうことができる。これを「貯食行動」といい、私と違って立派な行為に見えるのだが、リスは隠した餌のことをすっかり忘れ、どこにあるのか分からなくなってしまうのだ。しかしながら、このドングリから新芽が出て、やがて木となり、またリスたちの餌が作られる。最後は森林が形成されるという、実に壮大な話につながっていく。

前述の本の中に、「平均的なビジネスマンは、探し物をするためだけに、1年間に150時間も浪費している」という記事があった。この時間はほぼ1ヶ月分の労働時間に等しく、探し物をせずに済めば、この時間が浮き、心豊かな生活を送れるようになるとのこと。時間の使い方の大切さも再確認する必要がある。

また、「掃除道具は色で選ぶとよい」という記事もあった。色を感じることでやる気を高め、効率を上げることができるとのこと。黙々と掃除するなら「グレーや黒」、楽しく掃除するなら「黄色やオレンジ」、バランスよく掃除するなら「緑」、短時間にパッと掃除するなら「赤」、コツコツ掃除するなら「茶色」などなど・・・

今年ももう少しで終わる。来年がさらによい年になるように、自分の身の回りを整理整頓し、心もしっかり整えることを勧めたい。私もまずは自分の机の上から片付けることにする。先日購入した「緑のミニほうき」を使いながら。